

# サツマイモ ‘なんたん蜜姫’ の優良系統

～収量性、糖度および採苗性から系統Cを選抜～

## 1. はじめに

串本町では、肉質が粘質で甘みが強い在来のサツマイモを、‘なんたん蜜姫’の商標名でブランド化に向けた取り組みを行っている。しかし、自家増殖による系統の分化が多く、生産拡大およびブランド化の障害となっている。そこで、農業試験場では、JA紀南 および 串本さつまいも会、東牟婁振興局と協力し、2011年から現地で優良系統の収集と選抜を行った。2012年には、10系統から収量と形状、糖度に優れる系統C（表紙写真）および②-1の2系統を選抜した。ここでは、2014年に実施した最終選抜結果について紹介する。

## 2. 材料および方法

### 1) 糖度調査

試験には、農業試験場露地ほ場で10月9日に収穫した系統Cおよび②-1、‘高系14号’、‘隼人芋’を用いた。収穫後、15℃に保った貯蔵庫内で貯蔵し、約2ヶ月後に調査を行った。レギュラーサイズに相当する塊根を3個選び、蒸し器の中で1時間蒸した後、中心部20gを取り出し、60mlの蒸留水を加えて粉碎、その上澄み液を糖度計（ポケット糖度計 PAL-1 株式会社アタゴ）で測定した。

### 2) 採苗性試験

試験は串本町潮岬現地露地ほ場で行った。供試系統には系統Cおよび②-1を用いた。2014年2月24日に株間20cm、2条植え、畝間100cmで伏せ込みを行い、4月11日まで二重トンネル被覆を行った。採苗は4月22日から2週間毎（最終調査のみ1週間後）に6回実施し、苗の本数と重量を測定した。

## 3. 結果

### 1) 糖度調査

選抜2系統は、対照の‘高系14号’および‘隼人芋’よりも糖度が高く、系統Cの糖度は最も高かった（図1）。

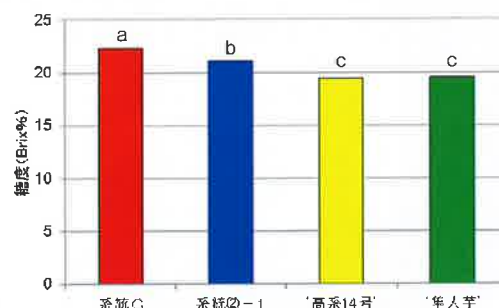


図1 供試系統および品種の糖度 (Brix%)

注) 調査日: 2014年12月9日

異英小文字間では5%水準で有意差があることを示す。  
(Tukey-Kramer法)

### 2) 採苗性試験

系統Cは②-1に比べて苗の総本数が多く、1本当たりの苗重の重い傾向がみられた（図2）。

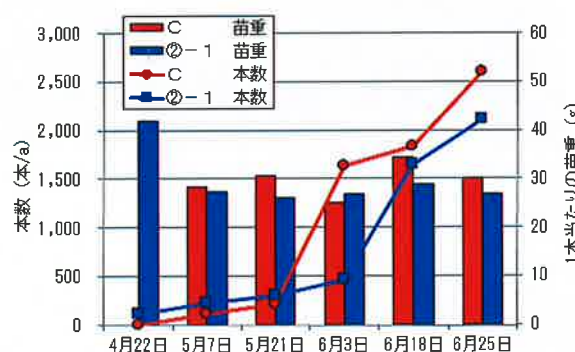


図2 系統Cおよび②-1の採苗本数と苗重の推移

## 4. おわりに

系統Cおよび②-1の収量は同等程度（データ省略）であり、貯蔵後の糖度と採苗性は、系統Cの方が系統②-1よりも優れていることから、系統Cを最終選抜した。今後有望系統Cの普及により、‘なんたん蜜姫’のブランド化の一層の進展が期待される。

(栽培部 矢部泰弘)